




論文審査結果の要旨

報告番号	甲 創 第 53 号	氏 名	湧川 朝治
審査委員	主 査	相 田 良 衛	
	副 査	土 屋 浩 一 郎	
	副 査	藤 野 裕 造	

学位論文題目

レンコン由来抗アレルギー化合物の単離と効果

審査結果の要旨

本論文は、有効なアレルギーの治療法開発を目的として、レンコン節部に含有されるインターロイキン(IL)-9 遺伝子発現抑制成分の探索、及び動物モデルでのその活性評価を行ったものである。

モデルラットを用いた実験において、レンコン熱水抽出物と抗ヒスタミン薬との併用によりアレルギー症状が改善されるとともに、RBL-2H3 細胞の IL-9 遺伝子発現亢進を抑制することを見出した。そこで、レンコンの IL-9 遺伝子発現抑制活性成分の探索を目的に、強い活性が見出された節部抽出エキスについて、活性を指標に分画を行い、3つの活性画分を得た。そのうちの1つの画分(80%EtOH 溶出画分)について、分解反応等を行い、ガロカテキン、エピガロカテキン等から構成されるプロアントシアニジン4 量体が活性成分であることを明らかにした。さらに、鼻過敏症モデルラットを用いた試験で、80%EtOH 溶出画分と抗ヒスタミン薬とを併用することにより、抗ヒスタミン薬単独に比べ鼻症状を有意に改善し、モデルラットの鼻粘膜の IL-9 遺伝子発現亢進を抑制していることを明らかにした。

本論文では、レンコン節部に含有されるプロアントシアニジンオリゴマーが IL-9 遺伝子発現亢進を抑制し、抗ヒスタミン薬との併用によりアレルギー疾患の治療に有効であるという薬学的に新規で重要な知見を得ており、博士論文として適当であると判断する。